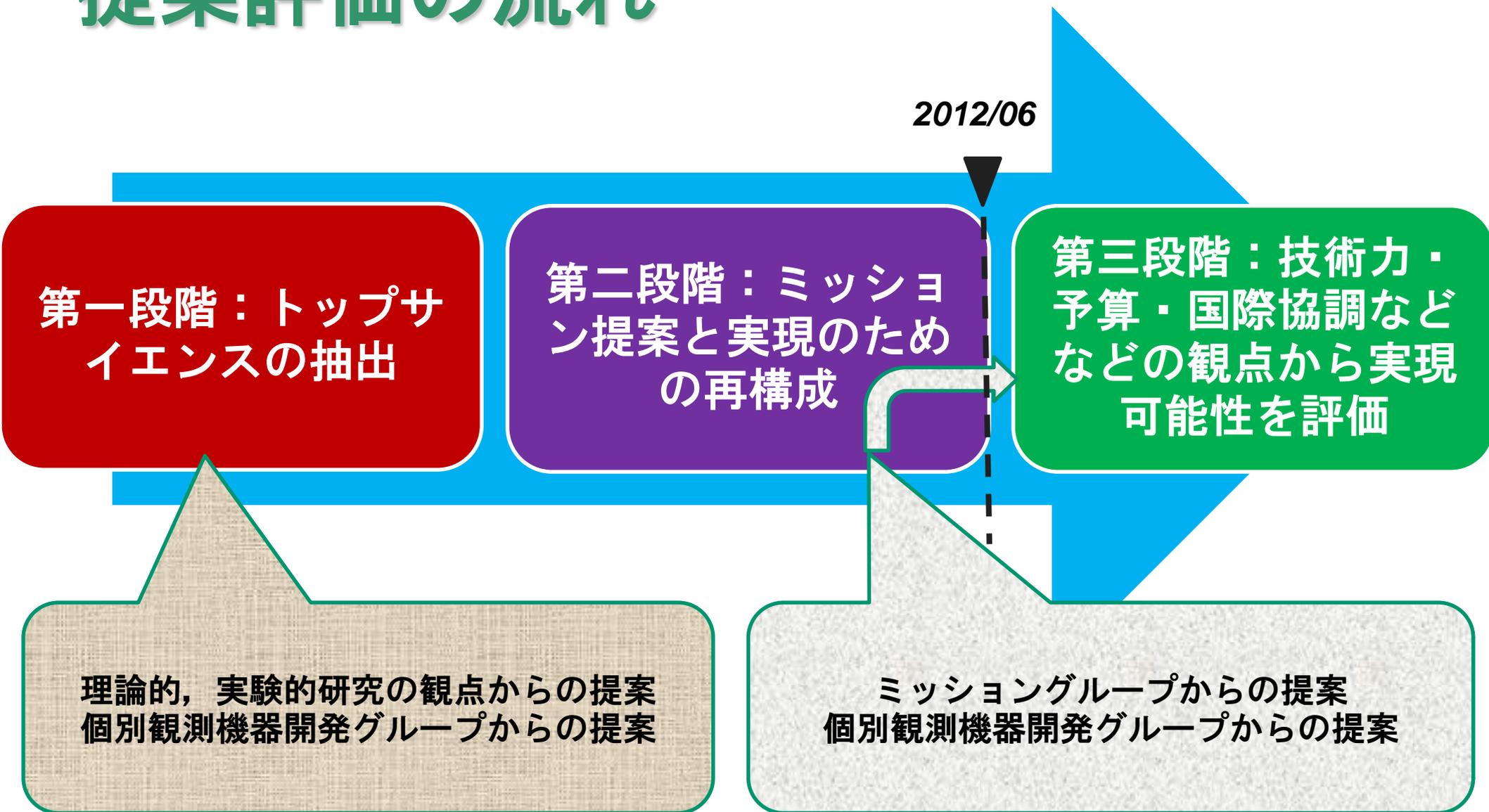


提案評価の流れ



イントロダクション：並木 → 方針説明：渡邊

「月惑星探査の来る10年」状況報告：第二段階 終了と第三段階開始(1)

- 2/15 **第二段階**委員会会合(ミッション提案と観測機器提案の吟味)
- 3/12 レビューレポート発送(2012連合大会での報告と、遊星人投稿を依頼)
- 5/24「来る10年の月惑星探査」セッションにて第二段階提案の報告
- 7/1 遊星人投稿(事務局=ゲストエディター)
12グループから11論文
各論文に2名の査読
- 8/1 遊星人9月号 最終原稿 〆切
- 8/3 月惑星シンポジウム
9グループの講演

「月惑星探査の来る10年」状況報告：第二段階 終了と第三段階開始(2)

4/27 **第三段階キックオフ会議開催**

渡邊誠一郎 委員長

向井 利典 委員

芝井 広 委員

川勝 康弘 委員

田中 智 委員

5/22 第二回会合 (第三段階評価の方針を議論)

5/24 連合大会「来る10年の月惑星探査」セッションにて第二段階提案の報告

6/12 第三回会合 (アウトプットのイメージの共有と13提案の絞り込みの方針を議論)

7/6 第四回会合 (他分野での議論の進め方を聴聞)

8/3 月惑星シンポジウム 特別セッション

https://www.wakusei.jp/~decade_sec/wiki/open/

「月惑星探査の来る10年」状況報告：第二段階 終了と第三段階開始 (3)

セッション別分科会

日時

9/14(金) 10:00-18:00 (TBD)

月惑星の構造と進化の比較学 セクション

9/15(土) 10:00-17:00 (TBD)

生命に至る宇宙物質の進化学 セクション

場所

東京大学 浅野キャンパス 理3号館 320号室

参加自由(但し, 会場収容人数は120名程度)

引き続き目的と方針について渡邊委員長から説明

セクション別分科会に向けて

「来たる10年」のゴールは探査提案のWG化

「誰か」のプロジェクトではなく、コミュニティ全体の将来を担うプロジェクトになる可能性

- ×傍観者, ×評価者, ○プレイヤー
- 積極的に参加してサポートできるか？
- NASA/ESAに互していけるプロジェクトか？
- 日本を代表する理想的なプロジェクトとは？

9月14-15日に向けて、みんなで考えていきたい

- 必ずしもセクションではない